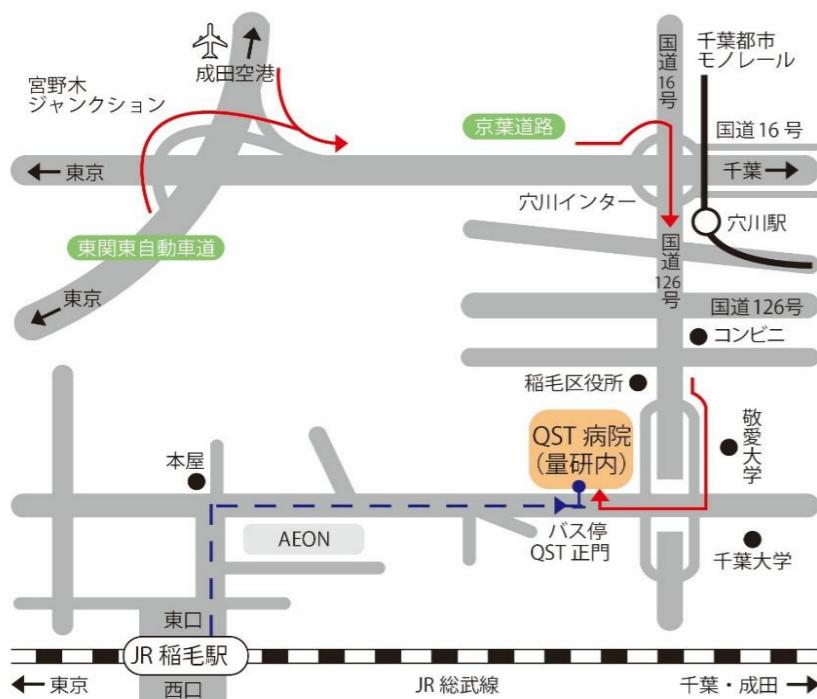


## アクセス



### 公共交通機関ご利用の場合

◎JR総武線 稲毛駅（総武線 快速・各駅 停車）

\*JR稻毛駅東口より徒歩15分

\*JR稻毛駅東口バスターミナル（2番乗り場）よりバス乗車 → QST正門下車

（山王町行、千葉センター行、ザ・クイーンズガーデン稻毛行）

### お車でお越しの場合（駐車場有り ※正門からお入りください）

\*京葉道路：穴川インターより10分（注意：稻毛区役所付近で側道へ）

\*東関東自動車道：宮野木ジャンクション → 京葉道路・穴川インターへ

## 電話相談

重粒子線治療に関する相談をお電話にて受け付けています。

Tel:043-284-8852

月曜日～金曜日（祝日、休日年末年始は除く）

午前 9:00～11:30 午後 12:30～15:00

当院ホームページは  
こちらから！！

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

**QST病院**（旧放射線医学総合研究所病院）

Tel:043-206-3306（代表）

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

当院ホームページ【<https://hospital.qst.go.jp>】



# 重粒子線治療をお受けになりたい方へ ～大腸がん術後再発～

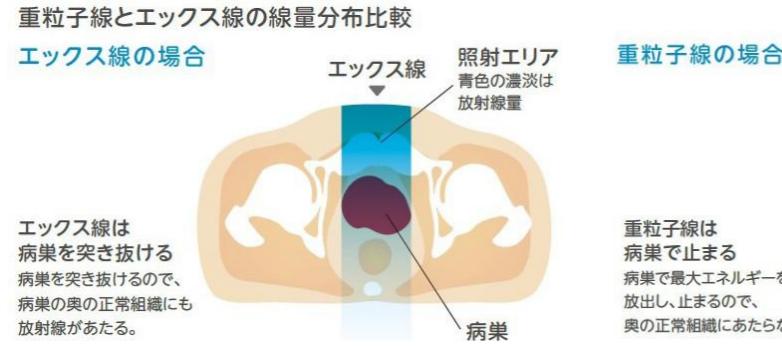
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

**QST病院**



## 重粒子線治療とは

- 一般の放射線治療と比べ、がん病巣に集中して照射できます。
- 一般的な放射線が効きにくいがんにも効果があります。
- 通院での治療もできます。



## 適応となるかた

(2025年9月現在)

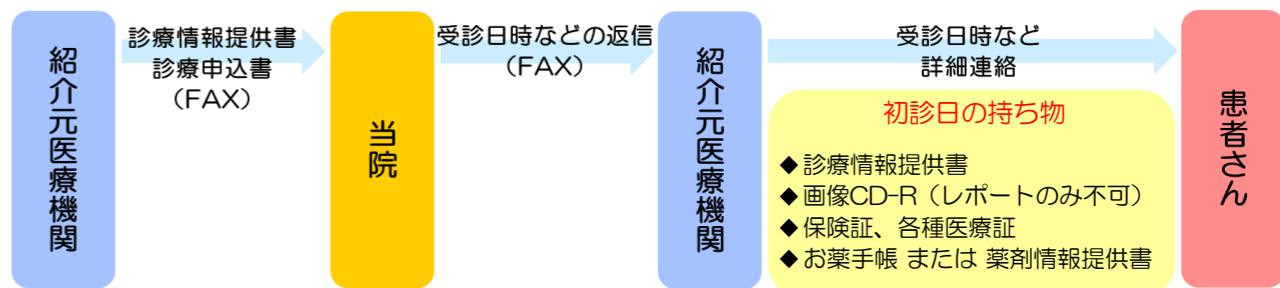
- 大腸がんの手術後であって主に骨盤部（局所と呼びます）に再発していると診断された方
- 原則として手術による治療が困難であると説明されている方

## よくいただくご質問と回答

- 治療期間はどれほどですか。  
週に4回の治療を全16回行いますので約4週間必要です。  
そのほか治療の準備に2~3日を要します。
- 痛みがあるのですが、入院で治療することはできます。  
ご入院での治療も可能です。痛みのコントロールについても担当医がご相談に応じます。
- X線治療を既に行ったことがあるのですが、治療可能ですか。  
X線治療の状況次第では、重粒子線治療を行うことが可能です。  
主治医の先生にQST病院からお問い合わせをして、X線治療の資料をご用意いただきます。
- 骨盤外の臓器にも転移があるといわれていますが治療可能ですか。  
それら臓器の転移に対して根治的な治療予定がすでにある場合には重粒子線治療を検討できます。
- 骨盤外のリンパ節に再発があるといわれていますが、治療可能ですか。  
こちらについては「先進医療」として実施しておりますので、お問い合わせください。

## 受診について

- 当院での治療目的の受診は原則として医療機関からの紹介予約制となっています。  
重粒子線治療を希望される方は、まずかかりつけの医療機関の医師にご相談ください。



FAX送付先：043-206-3439（地域医療連携室）

電話相談：043-284-8852（詳細は裏面を参照）

そのほか特定の疾患や病歴により必要となるものは個別にご案内します。

患者さん

## 治療の流れについて

重粒子線治療では、安全で精度の高い照射を行うために、治療前に患者さんに合った治療方針を事前にしっかり検討したうえで、固定具作製や治療計画用のCT撮影などを行います。



必要に応じて画像検査を追加して治療可能か判定します。  
問題がなければ準備・治療の日程を決定します。  
(重粒子線治療以外の、より良い治療についてご提示することもあります。)



患者さんの体型に合わせた、個別の固定具を作製します。

固定具を装着した状態で、治療計画用のCTを撮影します。  
(固定具作成から治療開始まで10~12日かかります。)



位置決めのために15分~30分、照射に数分かかります。  
1日1回で週に4回、全16回の治療です。  
重粒子線治療中には抗がん剤治療を併用しません。

ご紹介元の主治医とともに定期的に診察を行います。

## 治療費について

大腸がん術後再発に対する重粒子線治療は、保険診療となります。治療関連費用として、237.5万円と定められており、これに検査等のための診療費や入院費などを含めた金額から、ご加入の健康保険の区分によって1割~3割の額がご負担額となります。また、高額療養費制度※もご利用いただけます。  
(※詳しくはお住まいの自治体等にお問い合わせください。)